



美しき 世界の スプーン 展

2026 2.6fri - 3.15sun

Itoh Toyonari & Matsuura Yasushi
World's Spoons Collection

□会場:燕市産業史料館 別館 企画展示室

□開館時間:午前9時～午後4時30分

□入館料:大人400円、小中高生100円

□休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

□主催:燕市

掲載作品:伊藤コレクション

「エナメル製スプーン」

(上から17～18世紀スウェーデン、
制作年代不明ノルウェー、
20世紀中期ノルウェー)



燕市産業史料館
TSUBAME INDUSTRIAL MUSEUM

2026 2.6fri - 3.15sun

Itoh Toyonari

&

Matsuura Yasushi

World's Spoons

Collection

美しき世界のスプーン展

スプーンは現在、基本的な食事用具として世界中に広く普及していますが、その歴史は古く、人類の営みの中で欠かせないものとして使われてきました。現在のスプーンは金属製のものが主流ですが、木でできたものや貝殻でつくられたものにはじまり、その後、芸術作品として制作されるなど、さまざまな素材を用いてつくられてきた歴史があります。これらのスプーンの中には、食事以外の用途に使われたスプーンもあり、その国や地域の歴史、文化、風土を物語っています。本展では、燕市産業史料館が所蔵するスプーンコレクションである「伊藤コレクション」・「松浦コレクション」から、歴史的資料になりうるスプーンや芸術品とも言える美しさを秘めたスプーンを紹介します。

【伊藤コレクションとは】

伊藤豊成(1915-2001)が世界中を旅して収集した5,000本以上のスプーンコレクション。

伊藤氏は1960(昭和35)年に銀座のデパートでワイシャツとともに飾られていた2本のスプーンに魅了されたことをきっかけに、スプーンの収集をはじめ。そして欧米医学の視察やスケッチ旅行で海外を訪れるたびにスプーンの収集を行った。

このコレクションは2006(平成18)年に燕市に寄託され、2008(平成20)年11月より燕市産業史料館の新館にて、常設展示されている。



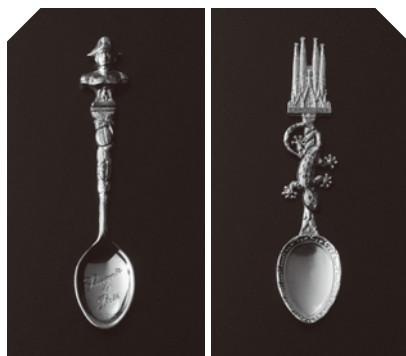
イギリス「エナメル製の花柄スプーン」

【松浦コレクションとは】

松浦靖(1936-2023)が世界中を旅して収集した5,000本以上のスプーンコレクション。

松浦氏は同志社大学の京田辺キャンパスの開校に向けて、1981(昭和56)年に世界の大学を巡っていたときに、スイスのジュネーブのレマン湖のほとりにあった時計店の店主から譲り受けたスプーンに魅了されたことをきっかけに、スプーンの収集をはじめた。そのコレクションは126か国・地域のスーベニアスプーンを中心に構成されている。

このコレクションは2024(令和6)年12月に燕市に寄贈された。



フランス「ナポレオン1世胸像」

スペイン「サグラダ・ファミリア聖堂とゲレル公園のトカゲ」

企画展関連イベント【木彫りのスプーンづくり体験会】

日時 3月1日(日) ①午前9時30分～正午 ②午後1時30分～午後4時

講師 沖野彫刻 定員 各回5名(予約優先)

会場 体験工房館 多目的室

参加費 2,000円(現金のみ、入館料別途必要)



◀ イベント詳細・
その他企画展に
関する情報は
コチラ

燕の産業の起源を知る。

燕市産業史料館 [常設展]

燕市は江戸時代から続く金属加工産業の集散地として知られています。その産業の起源を分かり易く紹介しております。



起源を紐解く【本館】

江戸時代から続く鋳起銅器、ヤスリ、煙管、彫金といった伝統的金属工芸技術について、製作工程や作業場の復元の展示を通して紹介しています。



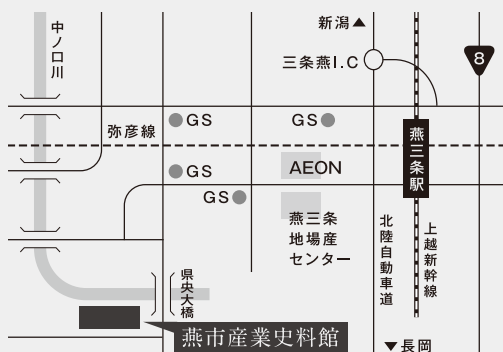
歴史を知る【新館】

明治から始まる燕の金属洋食器の歴史や金属ハウスウェアなどの展示を通して、現在に至る金属産業の変遷をたどることができます。



技術に触れる【体験工房館】

様々な体験メニューでお子様から大人の方まで楽しんでいただけます。作った作品は持ち帰ってご使用いただけます。



入館料 大人400円、小・中・高校生100円

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)



燕市
産業史料館

TSUBAME
INDUSTRIAL MUSEUM

〒959-1263 新潟県燕市大曲4330-1

TEL 0256-63-7666

<https://tim.securesite.jp>

